

一足早く ハロウィン姿で 交通安全啓発

(大津北・高島交通安全協会女性部合同)

「止まらないと事故になっちゃうぞ



～横断歩道は、歩行者優先です～

秋の全国交通安全運動期間中にあわせて、9月26日(水)午前11時頃から、「道の駅 びわ湖大橋米プラザ」において、国道161号・県道高島大津線を管轄する大津北・高島交通安全協会女性部員、大津北・高島警察署員の約50名がハロウィン姿で、交通安全啓発を行いました。

今回は、ハロウィンにちなんで、魔女やお化けなどに仮装し、「びわ湖大橋米プラザ」の利用者に対し、「止まらないと事故になっちゃうぞ～横断歩道は、歩行者優先です～」と、滋賀県独自の重点「横断歩道利用者の安全確保」を呼びかけました。



その際、「なでしこ」の花と手作りの啓発チラシを、びわ湖大橋米プラザ利用者に手渡し、安全運転を呼びかけました。



手渡された方は、「道路を横断するときは、必ず横断歩道を利用します」「横断歩道を渡ろうとする人がいれば、横断歩道の手前で止まります」と、ドライバーと歩行者が気持ちよく道路を利用する意識を持たれている様子でした。

